

土木学会 水工学委員会 水文部会 内規 (案)

削除: (

削除:)

平成 19 年 9 月 15 日

平成 21 年 9 月 2 日 一部修正

削除: 19

削除: 15

(目的)

第1条 水文部会(以下部会という)は、土木学会水工学委員会の基本方針およびその定めるところに従い、水工水文学ならびにこれに関連する問題の研究、調査、これらの推進、ならびに当該分野の若手研究者の育成をはかることを目的とする。

(活動)

第2条 部会は、上記の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 水工水文学ならびにこれに関連する問題の研究、調査
- (2) 講演会、講習会、研修会、見学会等の開催
- (3) メーリングリストやウェブページなどを通じた水工水文学に関する情報の交換
- (4) 水工水文学に関係する国内および国外の学協会関係機関との研究連絡
- (5) 水工水文学に関する刊行物発刊の企画編集等
- (6) その他目的達成のために必要な事項

(構成)

第3条 部会の構成は、水工学委員会内規に従うものとする。水工学委員会内規に定めのない場合、次の原則に従うものとする。

- (1) 部会長は次期部会長候補者を部会に提案し、審議を経た後、水工学委員長に推薦する。
- (2) 委員の構成は、地域、専門とする教育研究分野のバランス、年齢構成、男女比に配慮して部会長が部会委員案を作成し、部会での審議を経た後、水工学委員長に推薦する。
水工学委員長の指名に基づき、水文部会長は委員の委嘱を行う。

(3) 必要あるときは副委員長1名を置くことができる。

- (4) 任期半ばで委員が交代するときは、後任委員の任期は前任者の任期を引き継ぐものとする。
- (5) 部会には委員以外にオブザーバーの参加を認める。

(報告)

第4条 部会長は、水工学委員会内規に従い、水工学委員会委員長の要請により部会の活動状況を水工学委員会に報告することとする。

削除: 成果の

(審議)

第5条 この内規に定められた審議は、部会委員などからなるメーリングリスト上での議論により行うことができるものとする。

(事務局)

第6条 部会を運営するにあたり土木学会事務局の支援を要請することができる。

(内規の変更)

第7条 本内規の改正は、水文部会の承認により行い、水工学委員会に報告する。

参考資料

- 1964年6月、水文学の調査研究とユネスコの国際水文10年計画 (IHD, International Hydrologica Decade) への協力を目的として、土木学会水理委員会に水文小委員会が設立された。1988年、水理委員会が3部会制に移行したことを契機として、水文部会と改名され、現在に至る。

● 歴代の部会長

土木学会水理委員会水文小委員会が IHD 対処用に 1964 年に設置される。

- 1964～1969 : 井口昌平
- 1969～1979 : 石原安雄
- 1979～1981 : 高棹琢馬
- 1981～1983 : 石崎勝義
- 1983～1987 : 竹内邦良
- 1987～1989 : 池淵周一

1988年水理委員会日野幹雄委員長時代に3部会制に移行し、水文部会が発足する。

- 1989～1990年度 : 虫明功臣、東京大学生産技術研究所
- 1991～1992年度 : 椎葉充晴、京都大学工学部
- 1993～1995年度* : 山田 正、中央大学理工学部
(* 水理委員会の幹事長就任のため二期目途中で交代)
- 1995～1998年度 : 寶 馨、京都大学防災研究所
- 1999～2000年度 : 小池俊雄、東京大学大学院工学系研究科
- 2001～2002年度 : 中北英一、京都大学大学院工学研究科
- 2003～2004年度 : 岡 泰道、法政大学工学部
- 2005～2006年度 : 堀 智晴、京都大学大学院地球環境学堂・工学研究科
- 2007～2008年度 : 沖 大幹、東京大学生産技術研究所

削除: 土木学会水理委員会(当時)には1964年6月より水文小委員
書式変更
削除: 1964～
削除: 1969～
削除: 1979～
削除: 1981～
削除: 1983～1987
削除: 。
書式変更
削除: 平成1
削除: 2
削除: 。
削除: 平成3
削除: 4
削除: 。
削除: 平成5
削除: 7
削除: ... [4]
削除: 10
削除: 宝
削除: 平成11
削除: 12
削除: 平成13
削除: 14
削除: 平成15
削除: 16
削除: 平成17
削除: 18

● 部会委員推薦の原則

- 情報を広く共有するため、水工学委員会委員と部会委員とは併任しない。
- 50歳前後を目安として後進に道を譲っていただけるとありがたい。
- 学生は部会委員としない。部会活動も大事であるが、学生は学業が本務である。

削除: (*印は、幹事長になったので二期目途中で交代)

削除: ていただくには及ばない

削除: ないものだろうか

- 水文部会メーリングリスト(evlhydro-ML@hywr.kuciv.kyoto-u.ac.jp)への登録は、メーリングリストメンバーから部会長への推薦に基づく。学生、院生は基本的には登録せず、担当教員が必要に応じて転送することとする。

削除: 責任を持って

- 元水文部会委員、将来の水文部会委員候補である土木学会会員をオブザーバーとする。

削除: を「卒業」された方も

- 水文部会メーリングリストは部会委員とオブザーバーからなる。

削除: となっただけそうな方も同様に

削除: し、

書式変更: 箇条書きと段落番号